

小竹だより

練馬区立小竹小学校

校長 瀧嶋 克己



平成26年11月号

No. 474

地域・学校の特色、小竹の森音楽祭

校長 瀧嶋 克己

正門や校舎内に並ぶ菊の花が、秋の深まりを感じさせてくれます。

■小竹の森音楽祭

10月18日（土）は、第22回小竹の森音楽祭が大勢の方々に支えられ盛大に行われました。この音楽祭は小竹町会主催、小竹小学校・小竹小学校PTAが協力団体として行われています。本校からは、5年生と吹奏楽部が出演しました。

5年生は、合唱「空高く」合奏「シンクロBAM-BAYE」でした。特に合奏の手拍子のリズムが館内にこだまし、聴いている方も自然と身体でリズムをとっていました。練習の成果がよく表れていました。さすが、5年生でした。

吹奏楽部は、「PUSZTA～Part I. II. IV～」を演奏しました。きれいな音色で観客を魅了しました。小学生とは思えない腕前です。朝練習、放課後練習、休日の練習など毎日欠かさず練習した成果が表れていました。大変立派でした。

他にも小竹の森児童合唱団が出演しました。実行委員会が募集をかけて8月30日から練習を開始しました。合唱は「昭和アニメソングメドレー」でした。歌だけでなくダンスもあり、ソロで歌う場面もあり、いろいろと工夫されていて、観客を楽しませていました。歌もダンスも一級品です。練習をたくさんしたのがよくわかりました。

また、練馬交響楽団の方々や武蔵野音楽大学のハープ奏者三谷真珠子様、地域で活躍される方々の演奏がありました。日本大学芸術学部の学生さんたちは映像撮影等でご協力いただきました。指揮や伴奏は地域の方々をお願いするなど地域の特色を活かした音楽祭です。

そして、関係者と連絡・調整、会場準備、練習時間の調整・管理、整理券や入場券の配布、交通

整理など様々なところでPTAや地域の方々のご協力をいただきました。本当にありがとうございました。小竹小学校の特色でもある音楽活動を今後とも推進して参ります。

■いじめ防止に向けて（ふれあい月間）

平成25年9月に「いじめ防止対策推進法」が国で施行され、練馬区でも一人一人の子供たちが安心して学校生活を送れるように「いじめ問題対策方針」（平成26年4月10日改訂）を策定し、それに伴い本校でも「学校いじめ防止基本方針」（平成26年4月作成・11月HP掲載）を作成し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めています。

東京都教職員研修センターの調査によると「いじめた経験もいじめられた経験もある」と答えた児童・生徒の割合が46.9%、「いじめた経験もいじめられた経験もない」と答えた児童・生徒の割合は、22.7%と回答し77.3%の児童・生徒が何らかの形でいじめにかかわっているというデータがあります。いじめは誰にでも起こり得ます。

また、学校内にとどまらず、学校の外でも起こります。学校・保護者・地域が協力して、いじめを「しない」「させない」「許さない」心情を育てていきます。

[11月ふれあい月間の主な取り組み]

- ・校長講話
- ・代表委員会によるいじめ防止キャンペーン
- ・小竹小ミニマム10のルールの振り返りと簡易いじめアンケート調査（毎月）
- ・いじめ防止の標語づくり
- ・いじめアンケート調査 など